

第157回定時株主総会 事前質問へのご回答

2023年6月27日(火)の第157回定時株主総会の開催にあたり、事前に株主様専用ウェブサイトにていただいたご質問の中から、株主の皆様のご関心の高かった事項について、以下の通り、ご回答申し上げます。

ご質問をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

Q1. CX-60の品質不具合について

A.

株主の皆様、そしてお客様に、ご心配とご迷惑をお掛けしており、大変申し訳ございません。

当社では、開発から製造までの造り込みにおいて、お客様のご期待に沿えるよう、様々な検証を行っております。CX-60では、一つ上のクラス、機能に挑戦してまいりましたが、お客様の重視される視点や急激に進化している車両構造に対して、結果として開発や造り込み、品質検証プロセスにおいて、不十分な点がございました。これらの点について、全社を挙げて分析を行い、迅速に改善措置を実施しております。

これを今後の生産車種に活かすことでお客様に安心・信頼頂けるように、品質の向上に取り組んでまいります。

Q2. 自動運転技術開発の考え方について

A.

当社は、事故のない安全・安心なクルマ社会の実現と、全ての人が全ての地域で自由に移動し、心豊かに生活できる仕組みを創造し築いていくことを目指しており、その実現のため、自動運転技術の開発に積極的に取り組んでおります。

当社は、完全自動運転を可能とするインフラ整備には、相応の時間が必要になると認識しており、運転初心者から高齢者まで、多くのお客様がより安全に、安心して運転いただける技術の早期普及を目指しております。例えば、CX-60では、追従走行機能とステアリングアシスト機能に加えて、意識喪失によりドライバーが運転できないと判断した場合、自動で減速・停止・緊急通報する先進安全技術 Driver Emergency Assist (DEA)を採用しております。このDEAは、これまで当社が積み重ねてきた自動運転に関する技術を活用した高度運転支援システムで、ドライバーが特別な操作をしなくても、常にドライバーの状態を見守り、高速道路でも一般道でも作動する、世界初のシステムです。

当社は引き続き、「人間中心」の考え方で、自動運転技術の進化に取り組んでまいります。

以上